



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9845 URL https://www.parkercorp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 TEL 03-5644-0600
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	25,377	1.1	1,781	△6.5	1,829	△11.8	1,198	△15.6
2019年3月期第2四半期	25,109	5.0	1,905	2.8	2,072	1.0	1,419	△0.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 685百万円 (△2.4%) 2019年3月期第2四半期 701百万円 (△74.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	46.59	—
2019年3月期第2四半期	54.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	50,000	31,699	58.2
2019年3月期	51,449	31,198	55.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,115百万円 2019年3月期 28,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	6.00	—	6.50	12.50
2020年3月期	—	6.50	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△1.4	3,750	△4.9	3,900	△6.6	2,600	△4.4	101.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	26,801,452株	2019年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,088,325株	2019年3月期	1,088,325株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	25,713,127株	2019年3月期2Q	25,893,607株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国向けを中心とした輸出の低迷を背景に製造業の弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善により個人消費の回復も堅調であり、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。世界経済は、米国においては良好な雇用・所得環境に支えられた個人消費は堅調であるものの、外需の減速や通商政策をめぐる不確実性の高まりを受け、企業による設備投資は低調に推移しました。欧州における英国のEU離脱問題、米中の貿易摩擦長期化による景気減速等を背景に、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当社グループは主力の自動車業界や電器・電子部品業界のグローバルな市場動向に注視しながら、事業セグメントごとに顧客により密着した事業活動を展開してまいりました。その一環として、国内事業の競争力強化と海外収益の拡大を経営方針としてより一層のマーケティング力の強化を図り、市場性のある製品開発を推進しております。

この結果、当社グループの第2四半期の連結業績は、売上高は25,377百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は1,781百万円（同6.5%減）、経常利益は1,829百万円（同11.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,198百万円（同15.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

主力の国内外向け自動車用内装製造設備の製造販売は、堅調に推移しましたが、海外子会社の事業譲渡の影響もあり、減収減益となりました。

当部門の売上高は1,690百万円（同2.3%減）、営業利益は122百万円（同22.4%減）となりました。

・化成品部門

国内外の自動車業界向けの製造販売は、主要自動車メーカー向けの販売の減少と原材料の仕入価格高騰等により、減収減益となりました。

当部門の売上高は8,189百万円（同2.0%減）、営業利益は503百万円（同25.7%減）となりました。

・化学品部門

国内市場向けの一般工業用ケミカル及び大型洗浄設備の販売は堅調に推移しましたが、付加価値の高い輸出関連の販売が減少した事、原材料コストと経費の増加により減益となりました。

当部門の売上高は3,527百万円（同7.9%増）となり、営業利益は178百万円（同31.7%減）となりました。

・産業用素材部門

自動車用防音材の製造販売は、前年の期中に新規採用された製品の販売が期初から売上に寄与しました。また家電用防音材の製造販売は、欧州の猛暑の影響や東南アジアにおける輸出の増加により、増収増益となりました。

当部門の売上高は8,725百万円（同3.5%増）となり、営業利益は634百万円（同22.9%増）となりました。

・化工品部門

国内各種メンテナンス用ケミカル販売は好調に推移しましたが、海外でのIT需要の低迷により、電子部品関連ケミカルの製造販売は低調に推移し、減収増益となりました。

当部門の売上高は2,025百万円（同1.8%減）となり、営業利益は232百万円（同10.0%増）となりました。

・その他部門

中国やロシアの輸入販売は堅調に推移しましたが、国内子会社における燃料の販売単価の下落により、減収増益となりました。

当部門の売上高は1,221百万円（同3.2%減）となり、営業利益は111百万円（同36.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①当期の財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,448百万円減少し、50,000百万円となりました。主な要因は、建設仮勘定の増加(623百万円)がありましたが、現金及び預金の減少(1,036百万円)、保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少(631百万円)によるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1,949百万円減少し、18,301百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(1,051百万円)、1年内返済長期借入金の減少(663百万円)、未払法人税等の減少(106百万円)、繰延税金負債の減少(167百万円)によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ501百万円増加し、31,699百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少(483百万円)がありましたが、利益剰余金の増加(1,030百万円)によるものです。

②当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ、706百万円の減少の10,101百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,799百万円(前年同期は2,039百万円)、減価償却費624百万円(前年同期は593百万円)、法人税等の支払額517百万円(前年同期は638百万円)等により、865百万円の収入(前年同期は2,504百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、海外子会社の化学薬品製造設備・自動車用国内製造設備等による有形固定資産の取得による支出1,000百万円(前年同期は627百万円)、関係会社出資金の払込による支出67百万円等により、1,051百万円の支出(前年同期は1,037百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額によるキャッシュ・フローの支出200百万円(前年同期は収入223百万円)、長期借入金の返済による支出705百万円(前年同期は217百万円)、配当金の支払167百万円(前年同期は129百万円)等により、806百万円の支出(前年同期は229百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画(2019年5月13日付決算短信)に修正はありません。また今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,152	10,115
受取手形及び売掛金	12,836	12,556
商品及び製品	3,409	3,310
仕掛品	446	361
原材料及び貯蔵品	1,213	1,412
その他	1,141	1,017
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	30,188	28,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,446	8,567
減価償却累計額	△5,569	△5,681
建物及び構築物(純額)	2,877	2,886
機械装置及び運搬具	7,294	7,638
減価償却累計額	△5,510	△5,877
機械装置及び運搬具(純額)	1,784	1,760
土地	6,308	6,310
リース資産	632	606
減価償却累計額	△285	△318
リース資産(純額)	346	288
建設仮勘定	1,061	1,685
その他	3,622	3,697
減価償却累計額	△3,045	△3,134
その他(純額)	576	563
有形固定資産合計	12,954	13,493
無形固定資産		
借地権	128	123
その他	473	473
無形固定資産合計	602	596
投資その他の資産		
投資有価証券	5,898	5,267
長期貸付金	262	262
繰延税金資産	251	254
その他	1,379	1,451
貸倒引当金	△89	△89
投資その他の資産合計	7,703	7,147
固定資産合計	21,260	21,237
資産合計	51,449	50,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,017	7,965
短期借入金	2,612	2,389
1年内返済予定の長期借入金	1,381	718
リース債務	170	153
未払法人税等	558	451
賞与引当金	724	710
その他	1,469	1,451
流動負債合計	15,934	13,840
固定負債		
長期借入金	1,527	1,885
リース債務	204	158
繰延税金負債	768	600
役員退職慰労引当金	159	117
退職給付に係る負債	1,581	1,618
資産除去債務	16	16
その他	58	62
固定負債合計	4,316	4,460
負債合計	20,251	18,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,477	2,477
利益剰余金	21,093	22,124
自己株式	△307	△307
株主資本合計	25,465	26,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,206	2,723
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	88	△99
退職給付に係る調整累計額	△0	△1
その他の包括利益累計額合計	3,292	2,619
非支配株主持分	2,440	2,583
純資産合計	31,198	31,699
負債純資産合計	51,449	50,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	25,109	25,377
売上原価	18,656	19,048
売上総利益	6,453	6,329
販売費及び一般管理費	4,547	4,547
営業利益	1,905	1,781
営業外収益		
受取利息	18	20
受取配当金	45	43
持分法による投資利益	63	41
貸倒引当金戻入額	49	0
その他	42	42
営業外収益合計	219	148
営業外費用		
支払利息	24	19
為替差損	18	68
その他	8	13
営業外費用合計	51	101
経常利益	2,072	1,829
特別利益		
固定資産売却益	3	3
特別利益合計	3	3
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	36	31
特別損失合計	36	33
税金等調整前四半期純利益	2,039	1,799
法人税、住民税及び事業税	492	443
法人税等調整額	△27	△4
法人税等合計	464	439
四半期純利益	1,574	1,360
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,419	1,198

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,574	1,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△366	△371
繰延ヘッジ損益	5	△1
為替換算調整勘定	△365	△153
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△145	△147
その他の包括利益合計	△872	△675
四半期包括利益	701	685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	635	524
非支配株主に係る四半期包括利益	66	160

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,039	1,799
減価償却費	593	624
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△50	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	△14
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43	36
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△163	△41
受取利息及び受取配当金	△63	△64
支払利息	24	19
持分法による投資損益(△は益)	△63	△41
有形固定資産除却損	36	31
有形固定資産売却損益(△は益)	△3	△1
為替差損益(△は益)	15	13
売上債権の増減額(△は増加)	496	202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△280	△66
仕入債務の増減額(△は減少)	148	△1,193
その他	318	30
小計	3,099	1,332
利息及び配当金の受取額	67	66
利息の支払額	△24	△16
法人税等の支払額	△638	△517
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,504	865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	14	—
有形固定資産の取得による支出	△627	△1,000
有形固定資産の売却による収入	8	29
無形固定資産の取得による支出	△62	△15
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
関係会社貸付けによる支出	△330	—
長期貸付けによる支出	△31	—
長期貸付金の回収による収入	—	1
関係会社出資金の払込による支出	—	△67
その他	△5	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,037	△1,051

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	223	△200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△87	△116
長期借入れによる収入	—	400
長期借入金の返済による支出	△217	△705
配当金の支払額	△129	△167
非支配株主への配当金の支払額	△18	△16
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	△806
現金及び現金同等物に係る換算差額	△146	△44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,090	△1,036
現金及び現金同等物の期首残高	9,717	11,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,808	10,101

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,729	8,355	3,269	8,430	2,063	23,847	1,261	25,109	—	25,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	147	85	54	9	0	297	429	726	△726	—
計	1,877	8,440	3,324	8,439	2,063	24,145	1,690	25,835	△726	25,109
セグメント利益	157	677	260	516	211	1,823	81	1,905	—	1,905

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,690	8,189	3,527	8,725	2,025	24,156	1,221	25,377	—	25,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	74	50	3	1	143	427	571	△571	—
計	1,703	8,264	3,577	8,728	2,026	24,300	1,649	25,949	△571	25,377
セグメント利益	122	503	178	634	232	1,670	111	1,781	—	1,781

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。